

WAVE RESEARCHER 3.0

横河電機(株)Darwin シリーズ対応

滅菌バリデーション版 デモンストレーション バージョン 操作説明書

<http://www.habilis.co.jp>
sales@habilis.co.jp

株式会社ハビリス
〒108-0014 東京都港区芝4-7-1 西山ビル
TEL : 03 - 3769 - 6291 (代)
FAX : 03 - 3769 - 6285

 **Habilis Corporation**

All Right Reserved Copyright ©株式会社ハビリス 2002

目 次

1 . デモバージョンについて	1
2 . インストール	1
3 . 計測デモの操作	2
(1) 起動	2
(2) 環境設定	3
(3) 計測条件設定	3
(4) レイアウト変更	4
(5) 計測	6
4 . 編集デモの操作	8
(1) 起動	8
(2) 保存された計測ファイルの表示	9
(3) 再演算	10
(4) 温度分布測定値テキスト変換	11
(5) 温度分布測定値印刷	12

1 . デモバージョンについて

(1)動作環境

本プログラムは以下の環境にて動作します。リリースバージョンも同様です。

OS : Windows2000 / XP

グラフィック : 1024 × 768 以上推奨

CPU : Pentium 以上推奨

メモリ : 512MB 以上推奨

(2)制限事項

本プログラムは、自走式のデモバージョンです。実際に測定器と接続しても通信は行えません。

測定器との通信以外は、全てリリースバージョンと同機能です。

但し、本説明書は「Wave Researcher」® V3.0 滅菌バリデーション版の概略をご紹介するもので、全ての機能についての説明はしていません。

(3)その他

本ソフトウェアの仕様は予告無く変更する場合があります。

記載されている会社名・商品名は、各社の商標又は登録商標です。

2 . インストール

(1)CD-ROMの「Wave Researcher SV¥Setup.exe」を実行して下さい。

デフォルトでインストールした場合は、「C:¥Program Files¥Wave Researcher 3.0 滅菌バリデーション版 Demo」にセットアップされます。

(2)デスクトップに「計測 DEMO」「編集 DEMO」のアイコンが登録されます。



また、「スタートメニュー」 - 「プログラム」に

「Wave Researcher 3.0 滅菌バリデーション版 DEMO」 - 「計測 DEMO」
- 「編集 DEMO」

が登録されます。プログラムの起動はいずれかから行って下さい。

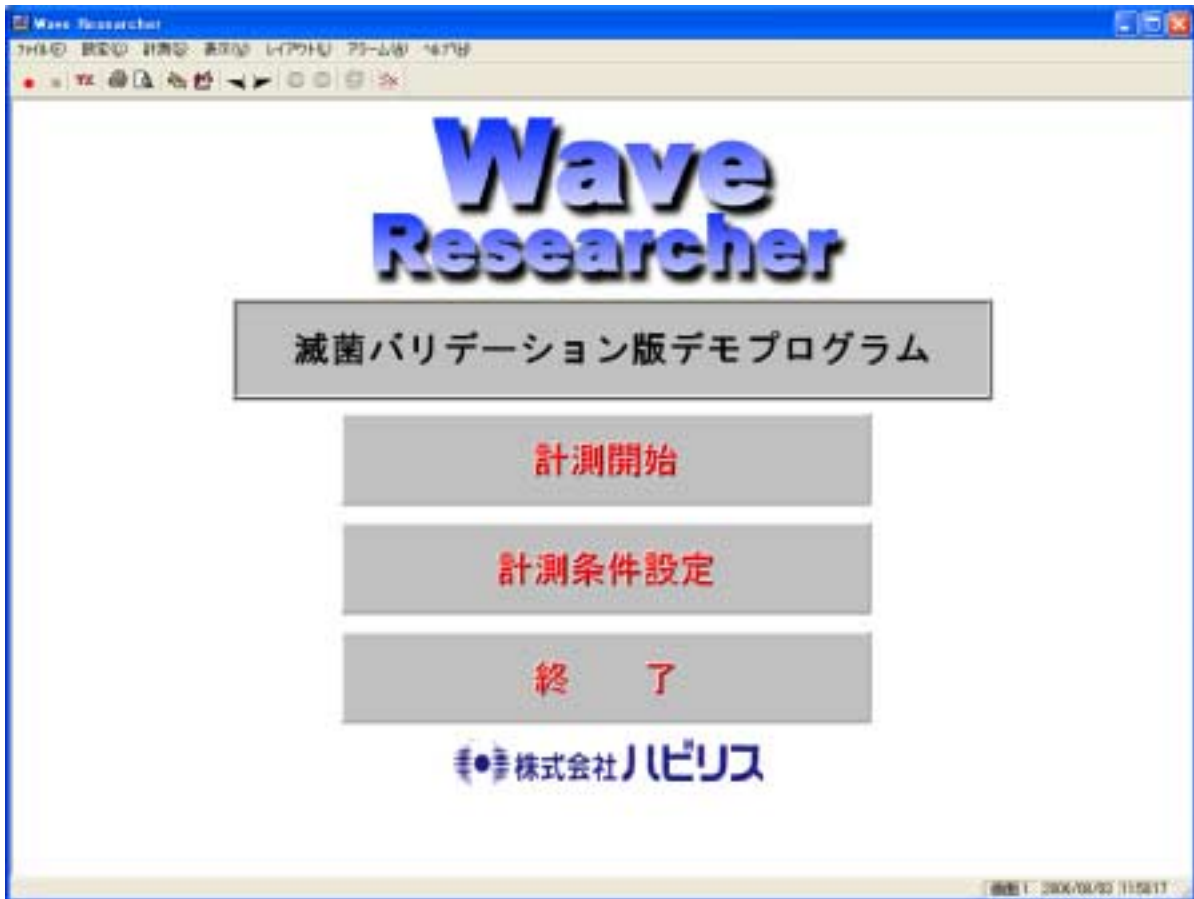
(3)アンインストールは、「コントロールパネル」 - 「アプリケーションの追加と削除」から行って下さい。

フォルダ「C:¥Program Files¥Wave Researcher 3.0 滅菌バリデーション版 Demo」及びデモ計測データは、手作業で削除して下さい。

3 . 計測デモの操作

(1)起動


デスクトップの「計測 DEMO」アイコンか、
「スタートメニュー」 - 「プログラム」 - 「Wave Researcher 3.0 滅菌バリデーション版 DEMO」
- 「計測 DEMO」から起動して下さい。
下記の画面が起動されます。

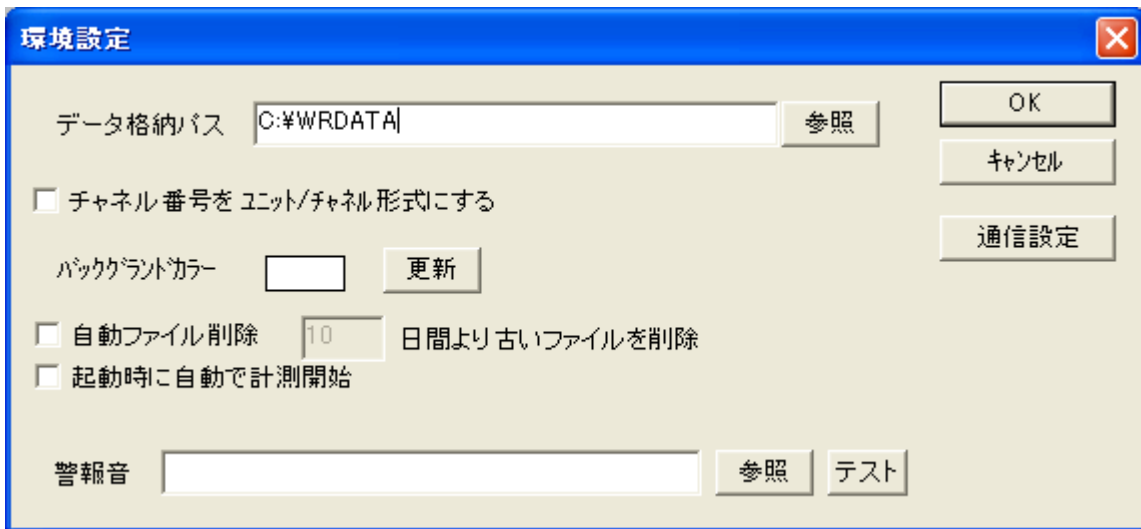


ツールバーの各ボタンから以降の操作を行います。




(2)環境設定

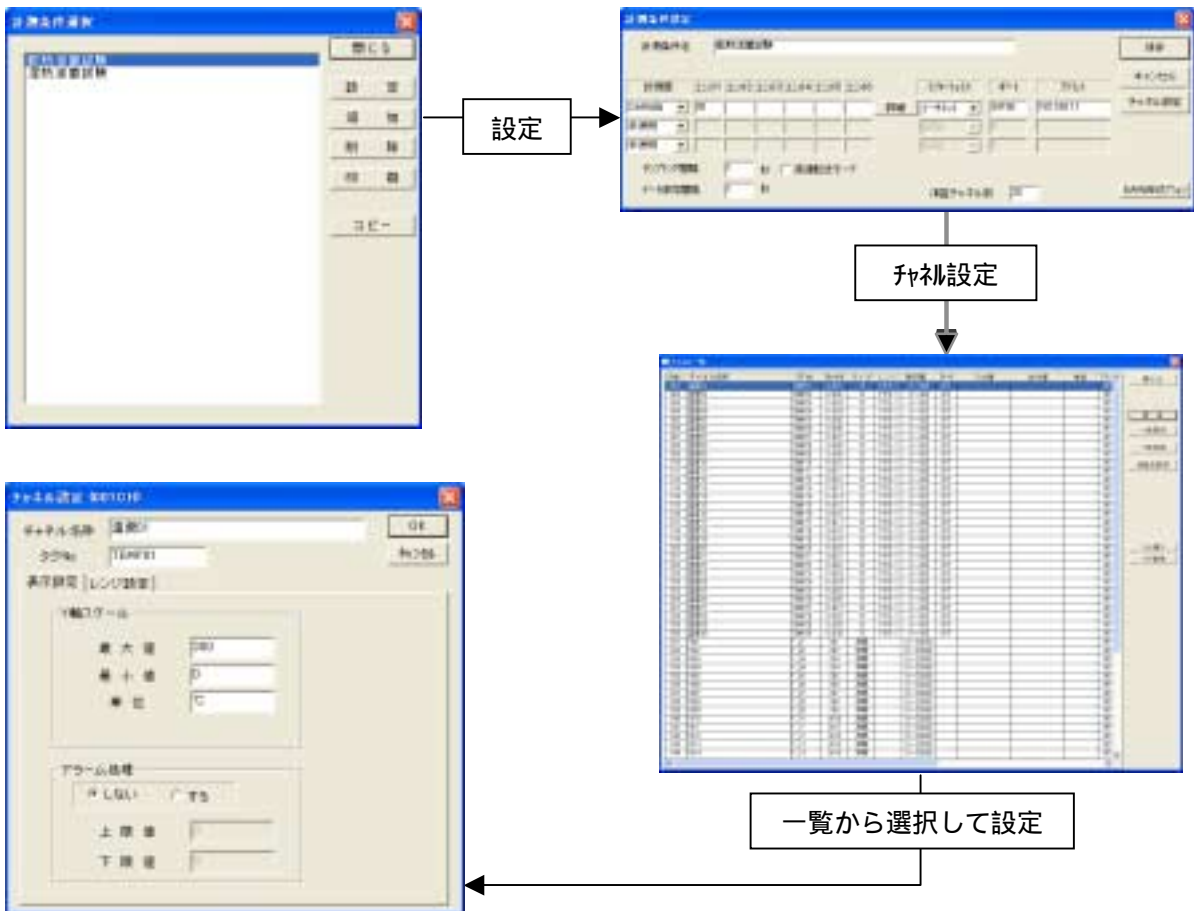
 ボタンをクリックすると、下記の画面が表示されます。



データ格納パスに、データ保存先を指定して下さい。デフォルトでは、C:¥WRDATA となります。

(3)計測条件設定

本デモプロでは、あらかじめ計測条件が登録されておりますので、ご参考として下さい。
以下のような画面にて、計測器とのインターフェースや、測定チャンネルの名称やレンジを登録します。
 ボタンが起動後の画面の「計測条件設定」ボタンをクリックして、計測条件を設定します。



F値演算結果は、演算チャンネルに保存されます。乾熱・湿熱それぞれの計測条件毎にF値演算式が設定されています。

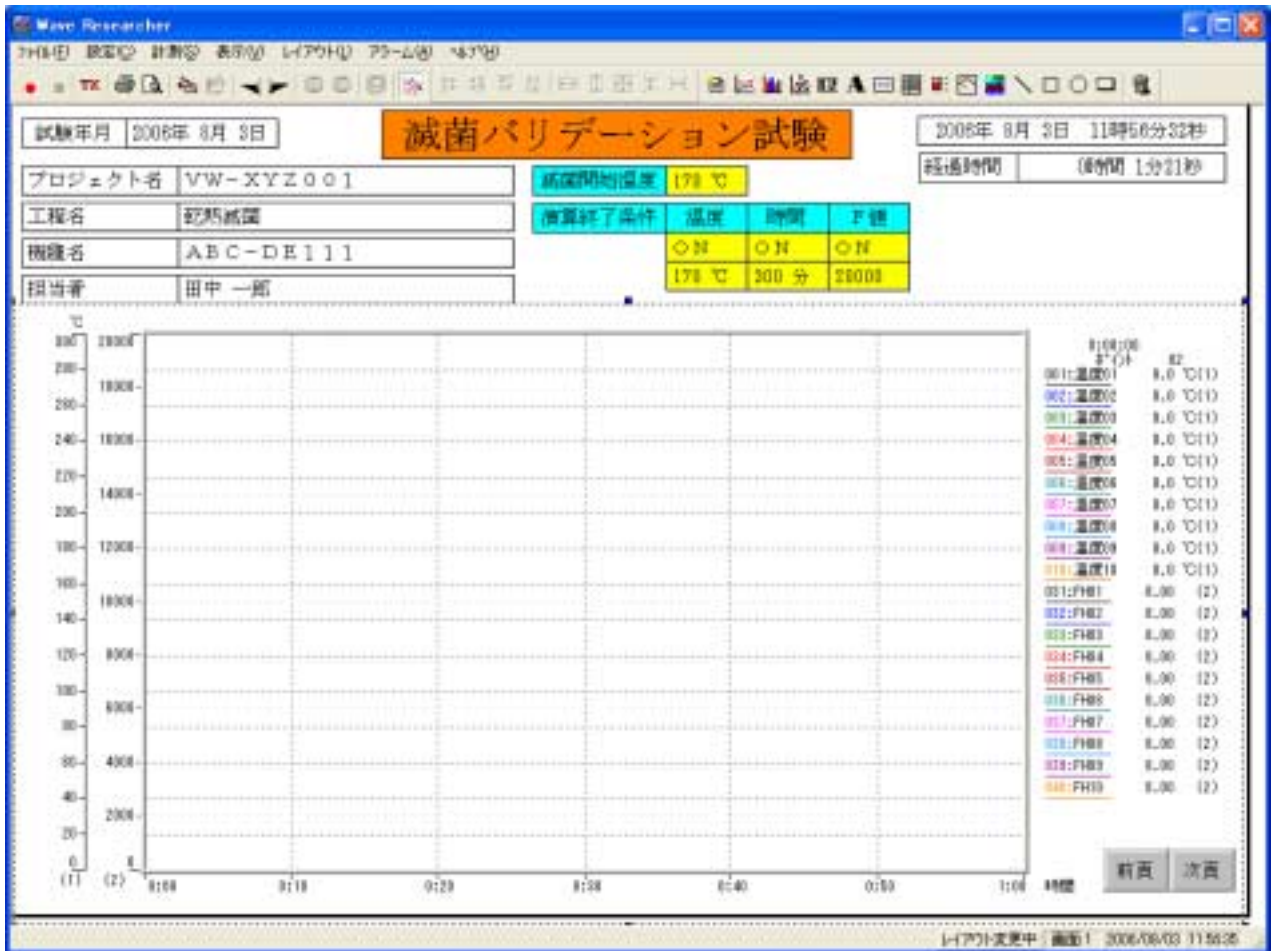
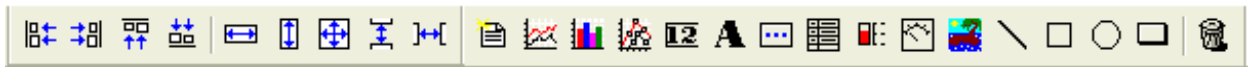
(4)レイアウト変更（画面の作成）

各計測条件に対する計測画面を作成します。本システムでは、あらかじめ計測画面が作成されておりますので、ご参考として下さい。



ボタンをクリックすると、登録されている計測画面が表示され、画面を作成するときのモードになります。

また、ツールバーに画面作成ツールの各ボタンが表示されます。




















作成されている画面の、モリエル線図やトレンドグラフ・棒グラフ・メーターグラフ・文字・ボタン等は、Wave Researcher の機能で作成できます。

複雑な図柄は、他のソフトで作成し、ビットマップ・メタファイル・JPEG で保存することにより、画面に貼り付けることができます。

画面の切り替えは、 ボタンで行うことができます。

ツールバーのボタンには、次のような機能があります。それぞれのボタンをクリックして画面を貼り付けます。


表示モジュール・新規画面の作成及び削除ボタン

-  新規画面の追加 (新規画面番号)
-  トレンドグラフ
-  棒グラフ
-  X Y グラフ
-  チャンネル単位のデジタル数値
-  テキスト文字列
-  システム情報表示
-  瞬時値一覧
-  チャンネル単位の棒グラフ
-  メーターグラフ
-  ビットマップ / メタファイル / J P E G ファイル
-  画像ファイルのアニメーション
-  直線
-  四角形
-  円
-  ボタン表示
-  ページ削除 (画面 1 ページの削除)


複数モジュールの整列・大きさ合わせボタン

表示モジュールを複数選択した時に有効になります。(均等配置は3つ以上選択)

-  左合わせ
-  右合わせ
-  上合わせ
-  下合わせ
-  幅合わせ
-  高さ合わせ
-  幅と高さ合わせ
-  上下均等配置
-  左右均等配置

もう一度  ボタンをクリックすると、レイアウト変更機能を終了します。

(5)計測開始

 ボタンをクリックすると、下記の画面が表示されます。

ヘッダ項目	ヘッダ名称
プロジェクト名	VW-XY2001
工程名	乾熱滅菌
機種名	ABC-DE111
担当者	田中一郎

演算条件	
開始温度	170 °C
終了条件	
<input checked="" type="checkbox"/> 温度	170 °C
<input checked="" type="checkbox"/> 時間	300 分
<input checked="" type="checkbox"/> F値	20000

計測条件・・・計測条件を一覧から選択して下さい。

乾熱滅菌試験・湿熱滅菌試験の2つがあらかじめ登録されています。

開始時間・・・この画面が表示されたときの、次の正分が表示されますが、任意に変更可能です。
変更した場合、開始時間まで待機状態となります。

計測方法・・・いずれかを選択して下さい。

連続・・・終了指示があるまで、1つのファイルに書き続けます。

日単位・・・1日の中の指定された時間のみ計測してファイルを閉じます。

これを終了支持があるまで繰り返します。ファイルは1日1ファイル作成されます。

指定時間・・・指定された時間だけ計測して終了します。

周期指定・・・指定された日数単位でファイルを作成し、これを終了支持があるまで繰り返します。

ヘッダ情報・・・ヘッダ項目(タイトル)とヘッダ名称を任意入力して下さい。

ここで入力した項目は画面や帳票に出力されます。

演算条件・・・F値演算を開始する温度と、演算終了条件を指定して下さい。

終了条件は、複数選択した場合、OR判定となります。

ファイル名・・・計測開始の年月日時分がファイル名となりますが、手入力での指定も可能です。

モニターモード・・・データの画面表示のみで、保存を行いません。

備考・・・任意入力項目です。

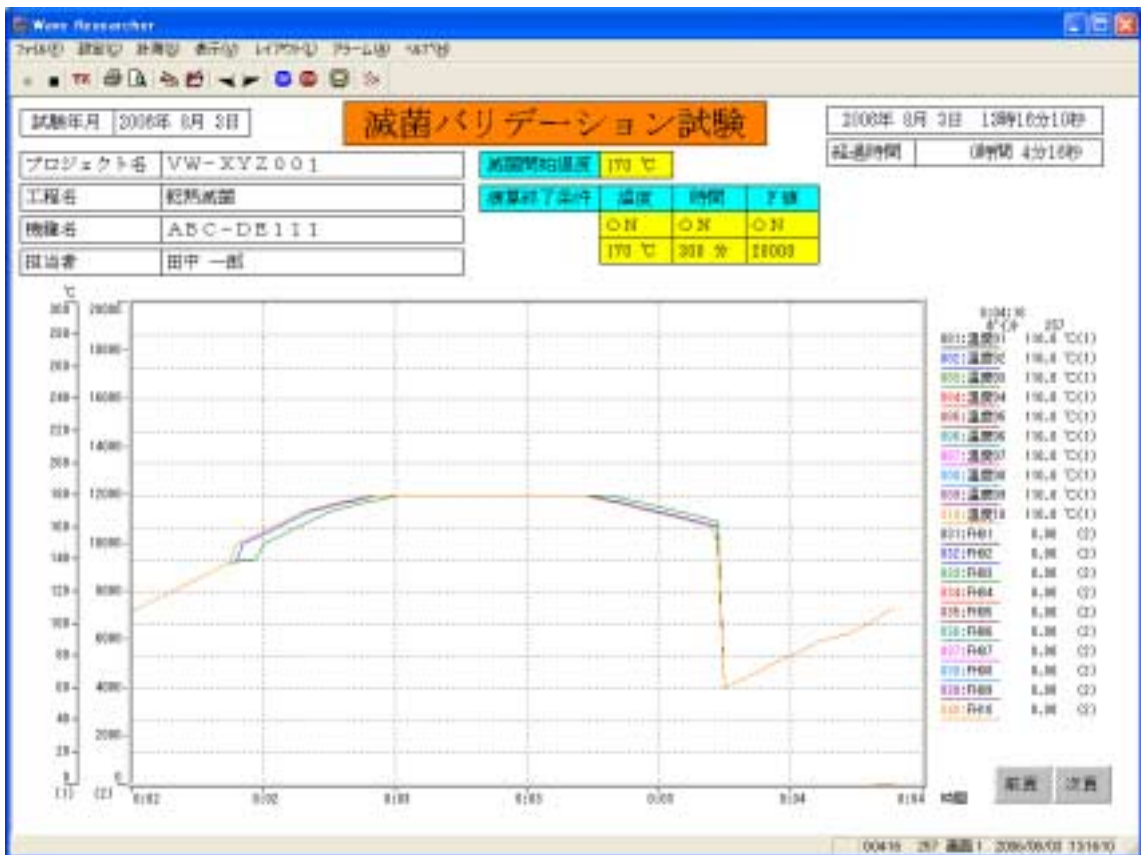
各項目を指定し、開始ボタンをクリックすると、開始時間まで待機後データ収集を開始します。


待機中は、[F 5] キーまたは、開始ボタンで即時にデータ収集を開始します。

待機画面。



データ収集画面。



前頁・次頁ボタンで画面が切り替わります。デモソフトは10チャンネルずつ3画面あります。計測終了は、 ボタンをクリックして下さい。

3. 編集デモの操作

(1) 起動


デスクトップの「編集 DEMO」アイコンか、
「スタートメニュー」 - 「プログラム」 - 「Wave Researcher 3.0 滅菌バリデーション版 DEMO」
- 「編集 DEMO」から起動して下さい。
下記の画面が起動されます。

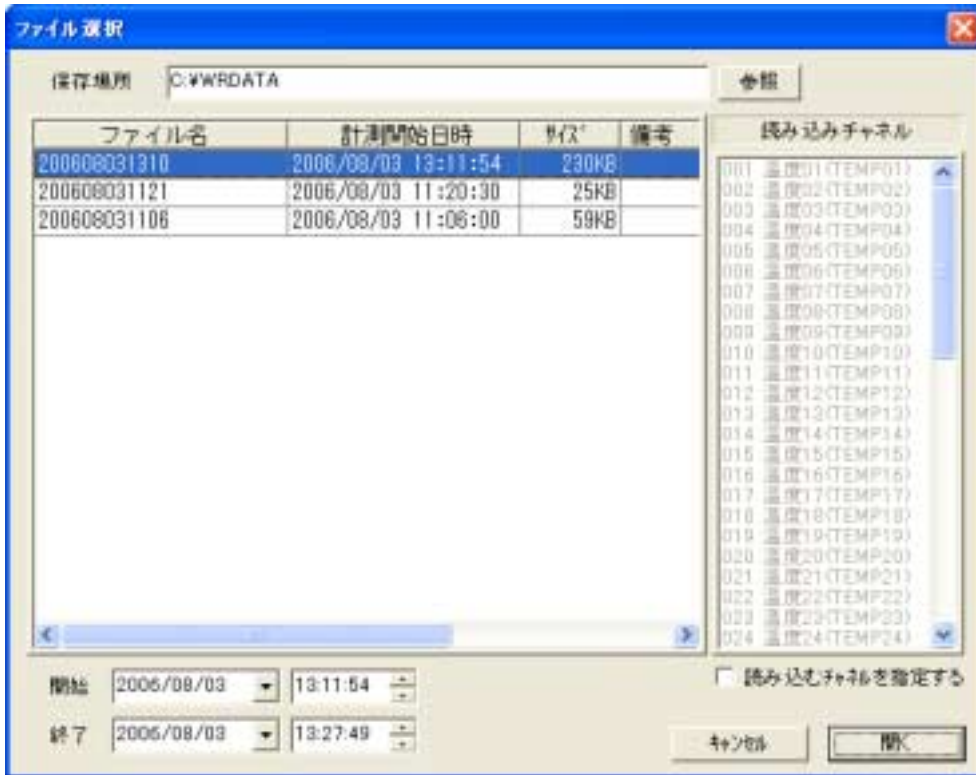


ツールバーの各ボタンから以降の操作を行います。

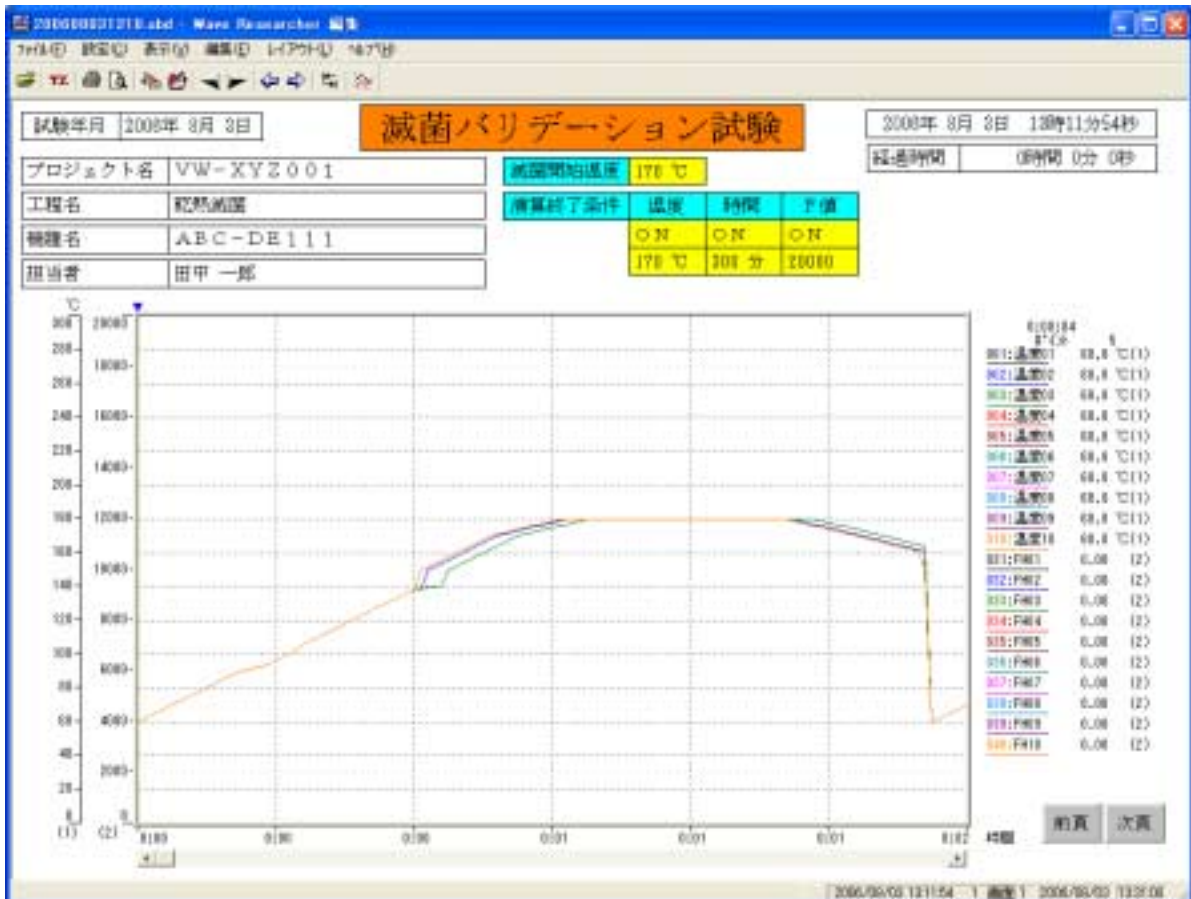


(2)保存された計測ファイルの表示

 ボタンをクリックすると、下記の画面が表示されます。



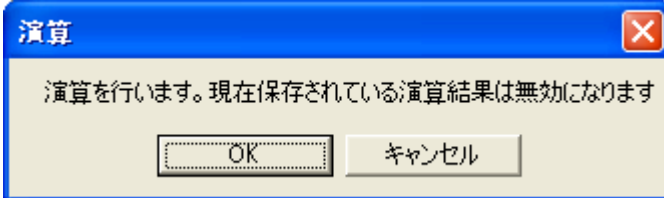
保存されている計測データの一覧が表示されます。表示したいデータを選択して、「開く」をクリックして下さい。表示する時刻の範囲を指定したり、表示チャンネルを指定することもできます。



データは、画面下部のスライダーやキーボードの左右の矢印キー [] でトレースできます。
 画面のページ切り替えは、計測中と同様に行うことができます。
 トレンドグラフには、青いラインカーソルが表示されます。このカーソルをクリックして左右に移動すると、データトレースが行えます。

(3)再演算

編集メニューの「演算」を選択すると、再度演算を行うことができます。



OKを押します。



温度トリガー

計測開始画面で指定した演算条件と同じです。

ポイントトリガー

最大30チャンネルの各チャンネル毎に、演算する範囲をポイントで指定します。

(4)温度分布測定値テキスト変換

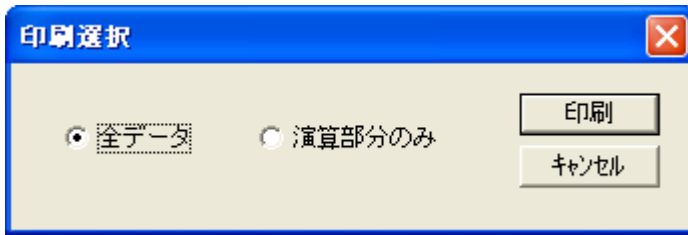
ファイルメニューの「温度分布測定値テキスト変換」を選択すると、下記の画面が表示されます。

各項目を設定して変換ボタンを押すと、CSV形式に変換されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	BK	BL	BM	BN	BO	BP	BQ	BR
1	温度分布測定値一覧表															
2	2006年6月23日															
3	プロジェクト:VW-XYZ001															
4	工程名 滅菌															
5	機種名 ABC-DE111															
6	担当者 田中 一郎															
7	開始条件済121℃															
8	終了条件済ON 120℃															
9	終了条件OFF 0分															
10	終了条件F OFF 0															
11																
12	No	時刻	温度01	温度02	温度03	最高値	最低値	高低差	平均値							
13			温度	FO	温度	FO	温度	FO	温度	FO	温度	FO	温度	FO	温度	FO
14	53	15:16:23	121	0.02	120	0	114	0	121	0.02	0	0	121	0.02	40.1	0
15	54	15:16:24	122	0.04	121	0.02	116	0	122	0.04	0	0	122	0.04	40.4	0.01
16	55	15:16:25	123	0.06	122	0.04	118	0	123	0.06	0	0	123	0.06	40.8	0.02
17	56	15:16:26	124	0.1	123	0.06	120	0	124	0.1	0	0	124	0.1	41.2	0.03
18	57	15:16:27	125	0.14	124	0.1	121	0.02	125	0.14	0	0	125	0.14	41.5	0.04
19	58	15:16:28	126	0.19	125	0.14	122	0.04	126	0.19	0	0	126	0.19	41.8	0.06
20	59	15:16:29	127	0.25	126	0.19	123	0.06	127	0.25	0	0	127	0.25	42.2	0.08
21	60	15:16:30	128	0.33	127	0.25	124	0.1	128	0.33	0	0	128	0.33	42.5	0.1
22	61	15:16:31	129	0.44	128	0.33	125	0.14	129	0.44	0	0	129	0.44	42.8	0.13
23	62	15:16:32	130	0.57	129	0.44	126	0.19	130	0.57	0	0	130	0.57	43.2	0.17
24	63	15:16:33	130	0.7	130	0.57	127	0.25	130	0.7	0	0	130	0.7	43.2	0.21
25	64	15:16:34	130	0.82	130	0.7	128	0.33	130	0.82	0	0	130	0.82	43.3	0.25

(5)温度分布測定値印刷

ファイルメニューの「温度分布測定値印刷」を選択すると、下記の画面が表示されます。



いずれかを選択して印刷ボタンを押して下さい。

The screenshot shows a large data table with the following structure:

- Columns:** The table is organized into groups of columns. Each group starts with a header row containing '測定1' through '測定10' (Measurement 1 to 10). Below these are sub-headers for '測定1' through '測定10', each followed by '標準' (Standard) and '平均' (Average). There are also columns for '標準誤差' (Standard Error) and '平均値' (Average Value).
- Rows:** The rows are grouped by channel number (e.g., 04, 05, 06, 07, 08, 09, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20). Each channel group contains multiple rows of data, likely representing different segments or measurements for that channel.
- Content:** The cells contain numerical values, some of which are formatted with commas as thousands separators. The values vary across channels and segments.

横10チャンネルで、11チャンネル以上の時は2段・3段で印刷されます。